

桑名文化協

令和2年9月15日

第48号

桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361
http://bunkyo-kuwana.jp

ご挨拶

桑名市文化協会

会長 荒木敏文



本年1月16日に新型コロナウイルスが確認され、

8ヶ月が経過しました。それ以降、未だ経験したことがない感染症拡大防止のため「3密回避」「ソーシャルディスタンス」「マスク着用」等により生活様式が一変しました。

文化協会としまして、5月に予定しておりました第28回定期総会が書面表決となり、また、市から委託を受けました第67回桑名市民展も中止となりました。

また秋に予定しております第29回市民芸術文化祭も一部開催が危ぶまれています。開催に当たっては、参加者の名簿、連絡先の把握、検温、手洗いの手指衛生の徹底、入場者の制限等の協力を求めることとなります。このように事前の準備体

制が重要となり、会員の皆様には感染防止対策の徹底をお願いするものであります。

また、会場使用については、市の指導に従い、安心・安全な展示、舞台発表等の文化事業をお願いしたいと思ひます。

結びにあたり、会員の皆様には、暑さの続く中、熱中症・コロナに注意をし、更なる健康にご留意を頂きたいと思ひます。また、日頃からご支援を賜っております特別会員の皆様にもご自愛していただき、桑名市文化協会の活動に対しご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

新型コロナウイルス・会員活動への影響 ～会員アンケートより～

桑名市文化協会

事務局 糸川久美

季節はいつもと同じように移っていくのに、人間社会は目に見えないウイルスに翻弄される日々です。4

月16日から5月6日まで緊急事態宣言が全国に出されたことを受け、文化協会の会員の皆さんはどのように活動されているのか、アンケートを実施しました。概略でアンケートの結果をお知らせします。

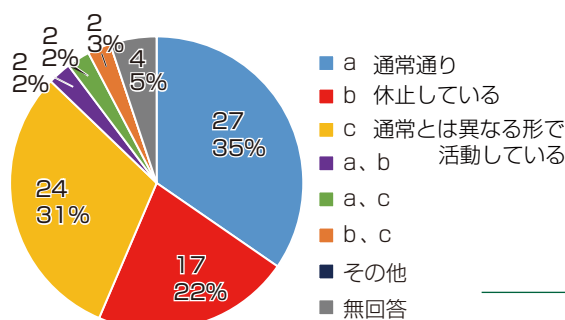
会員は活動分野、形態が多岐に渡っており、一概に数字で見えることは難しいですが、このコロナ禍の状況でも感染対策をしながら前向きに活動をしようというところが多いことがわかります。(グラフ1)広い会場を借り距離をとる、ビニールで仕切りを作る、オンラインの活用など様々な工夫をされています。

また、多くの事業が中止になっており(グラフ2)その事業数は90以上にのぼりました。また損失が多額な団体もありました。

会員数 団体86、個人26、計112の内、団体67、個人11、計78の回答。(8月17日現在)
回答率:団体77.9%、個人42.3%、全体69.6%

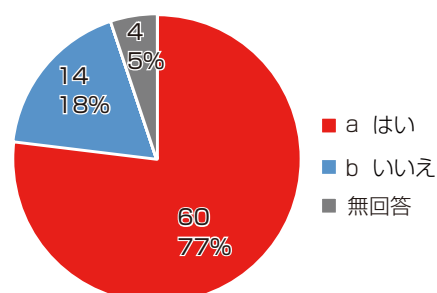
【グラフ1】

Q2:現在、日常の活動状況を教えてください。



【グラフ2】

Q5-1:新型コロナウイルスの影響で中止もしくは延期となったイベント等がありますか?



アンケートを実施して、会員さんそれぞれの活動状況やご意見、ご要望を知ることができました。全体を通してこのコロナ禍で、意欲の減退と、行き場のない情熱と両極の気持ちが続いていました。

文化協会として、なんとか応援したいと考えています。市民芸術文化祭を十分な感染防止対策で開催し、表現したくてうずうずしている会員さんを盛り上げ、市民の皆さんに芸術文化で心の潤いを届けることができれば、それがまず一番の文化協会のできることでないかと準備を進めています。またアンケートの結果は、施設や市の文化行政に皆さんの声を届ける資料とさせていただきます。

皆さんの芸術文化への情熱が繋がれ、再び思う存分活動できる日々が来ることを心より願っています。

第29回 桑名市民芸術文化祭 ～プログラム～

右記の日程で市民芸術文化祭を開催します。
芸術の秋にさまざまな文化・芸術にふれてみませんか。
皆様のご来場をお待ちしています。



●協賛事業

演劇集団Cブレンド野外公演「乙姫様の憂鬱」 九華公園野外ステージ

2020年10月11日(日)
開演19時30分
(40分間程度)

御伽草子の名作と知られる浦島太郎の後日譚を、Cブレンドが誇る個性的な役者たちが、ゆる〜く感動的に演じます。
チケット[有料]・詳細はホームページをチェック!
<http://c-blend.net>

第11回 ハーモニカ・モニカーズ定期演奏会 四日市市文化会館 第2ホール

2020年12月19日(土)
12時30分(開場11時50分)

ハーモニカ・モニカーズによる定期演奏会です。
ハーモニカの音色をお楽しみください。【入場無料】

第15回 るり茂会 NTNシティホール 大ホール

2021年2月28日(日)
開演 10時

日本の伝統文化である日本舞踊の練習を重ねた結果を発表します。【入場無料】

くわコレ'20

展示と体験(材料費必要)

10月17日(土) 13時～16時
10月18日(日) 9時～16時(体験は10時より)

場所:NTNシティホール 展示室

芸能の祭典(日本舞踊、箏曲、民謡、大正琴など)

10月24日(土) 13時～16時(開場12時)
10月25日(日) 10時～16時(開場9時30分)

場所:NTNシティホール 大ホール

音楽のフルコース

11月15日(日) 13時～16時(開場12時30分)
※入場整理券(無料)が必要です。
配布場所:NTNシティホール・文化協会事務局

場所:NTNシティホール 大ホール

趣味教養祭 (パッチワーク) 展示と体験(材料費必要)

11月21日(土) 9時～17時
11月22日(日) 9時～15時

場所:NTNシティホール 展示室

美術部門展 2020

11月21日(土) 12時～17時
11月22日(日) 9時～17時
11月23日(月・祝) 9時～16時

場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

社会文化部門展 ～時の話題2020～

11月28日(土) 展示10時～16時30分
講演13時30分～15時
11月29日(日) 9時～16時

場所:NTNシティホール 展示室

ダンス、DE、パフォーマンス“2020”

11月29日(日) 13時30分～16時(開場13時)

場所:NTNシティホール 大ホール

演劇の祭典 劇団すがお公演 **中止変更** 「水郷燃ゆ～長島一向一揆の闘い～」

12月5日、6日、大山田コミュニティプラザで上演予定でしたが、中止変更となりました。2021年3月別作品を上演予定、詳しくは劇団すがおHPでご案内いたします。 <http://gekidan-sugao.org>

「桑名文協」に文芸作品発表

2021年3月発行

場所:各まちづくり拠点施設、公共施設にて配布

☆新型コロナウイルスの影響で、文化祭の催し・協賛事業が中止または変更になる場合があります。最新の情報は桑名市文化協会ホームページをご確認ください。

<http://bunkyo-kuwana.jp>

☆お問い合わせ

文化協会事務局(桑名市役所ブランド推進課内)
(TEL24-1361 FAX24-2474)



桑名市民芸術文化祭の舞台裏

日本舞踊に魅せられて

芸能I部門 内田流るり茂会

加藤 みつぎ

私が日本舞踊内田流るり茂会に入門したのは、平成十四年六十才の時でした。るり茂会の三年に一度の発表会の開催される年でした。恐さ知らずの私が舞台に出たいと言ったら、先生が二つ返事でいいですよ、と言って下さいました。その言葉にあまえて、半年後の発表会に出場する事になりました。舞踊に対して右も左も分からない私に、先生は一生懸命お稽古に励んで下さり、どうにか舞台も無事に終わることが出来ました。現在七十八才、その間に股関節の手術、これで踊りも終わりにかなと思いましたが、二年休み、今は一生懸命歩いて頑張っています。週一回のお稽古もコロナの影響で二ヶ月程休みましたが、現在は徐々にもとどりつつあります。今は認知症予防だと思って、動ける間頑張りたいと思っています。

四月の邦楽大会も中止、十月の芸術文化祭は開催できませんように。内田流るり茂会の四月二十六日の発表



会も、来年二月二十八日に延期になりました。NTNシティホールで開催します。是非見に来てください。私は伝統深い日本舞踊るり茂先生に出会えて本当に倅に思っています。皆さん身体、また頭の体操に、とても良いので元氣な方は是非るり茂会の仲間はどうですか！皆さんのおこしを心よりお待ち申し上げます。

愛石会の舞台裏

旧市民会館3階からメディアライヴへ

趣味教養部門 桑名愛石会

中山 みどり

桑名市文化協会ができた時、我が桑名愛石会も発足しました。員弁川を中心を探石した石を展示して、多くのの人に見てもらおう事を目的にして。

旧市民会館の3階大会議室が石展の会場でした。員弁川石は、抜けやジャクレの迫力が魅力なので大きい石が多く、水盤や砂もあり、それを三階まで運ぶのは、そうとう体力が必要でした。会場設営は半日以上かかりました。でも、市内はもちろん愛知や岐阜、遠くは福井、京都の愛石家の方もたくさん来て頂けました。

2004年からは、メディアライヴの多目的ホールが石展の会場になり、高い天井、明るい照明で、石展の質がグッと向上して、「いい会場ですね。広くて、明るい。こんな会場が使えるなんて羨ましいです」とたくさんの人に声をかけてもらいました。

また、会場に合わせ衝立を作り、机にかぶせる布を購入し良い会場作りができるようになります。



▲メディアライヴ開場を待つ水石たち

会場設営も、駐車場から石を運ぶのも階段を使わなくてもよく、おまけに台車を使つて運べます。机もキヤスターつきで移動も簡単で、今まで半日以上かかっていた設営が数時間で済み、その後は石を見て飾り方の勉強会も出来るようになりました。

昨年の文化祭は、台風の影響で泣く泣く中止になりました。そして、三月からのコロナ禍の中、愛石会の水石展は、今年も中止することになりました。大変残念ですがいまこそ文化や趣味を大切にして、心豊かにならしができるようにと思います。

第67回桑名市民展中止の舞台裏

次回開催に繋ぐ

桑名市文化協会

事務局 水谷 芳春

文化協会が市民展に参画して3年目を迎えた今年、「新型コロナウイルス」に翻弄される年となりました。7月に開催を予定していた「第67回桑名市民展」をなんとか開催できないかと検討していましたが、緊急事態宣言が出され、感染拡大防止の

観点から中止を余儀なくされ、「第67回桑名市民展」は、まぼろしとなりました。

出品準備を進めていた方々には落胆されたのではないかと申し訳なく、残念な思いでいっぱいです。

そのような状況下ですが「コロナに負けるな」と次年度に向け明るい話題をお届けしたいと思います。

まず、30年以上変更することのなかった賞名を「市長賞」から「最優秀賞」「金賞」「議長賞」から「優秀賞」「銀賞」「へ」と変更しました。

さらに初めての試みとなる市内の企業・団体より広告協賛で市民展を応援いただく仕組みを作りました。

市民展運営委員の皆さんに協賛のお願いに奔走していただき、市内33の企業・団体様より広告協賛をいただくことができました。これにより5年ぶりに賞状以外の副賞として賞金の付与が可能となりました。

またこのような新型コロナウィルスで不景気な状況下でも協賛者の方々から「今回は残念だったけど、次年度へ協賛金を回してください。」や「次年度、協賛するからね。」と温かい言葉をいただき、担当一同大きな励みになりました。

次回開催に向け、創作意欲につながる魅力ある市民展になるよう、頑張っていく予定です。次年度の多くのご参加・応援をお待ちしています。



▲昨年の市民展のにぎわい

令和2年度 桑名市文化協会育成補助金助成事業一覧

	申請者	事業名	開催期日	開催場所
1	るり茂会	第15回 るり茂会	R3.2.28	NTNシティホール 大ホール
2	紫会	第19回 紫会	R2.11.3	NTNシティホール 大ホール
3	青黄会	第33回 青黄会絵画展	R2.8.12～R2.8.16	くわなメディアライヴ 多目的ホール
4	桑名相撲甚句会	第18回 東海西部地区相撲甚句大会	R2.10.17 中止	大山田コミュニティプラザ
5	桑名能楽連盟	第33回 桑名能楽連盟発表会	R3.2.23	NTNシティホール 小ホール

この中から2団体の方々に、活動紹介をしていただきます。



洋画サークル「青黄会」の紹介

美術部門 青黄会

中原康栄

在良まちづくり拠点施設で絵画サークルとして活動している青黄会です。コロナウィルスの影響で文化・芸術活動は水を差され低調な状態です。でも、こんな時期にあって趣味仲間と一緒に過ごせること、好きな絵を描けることの有難さを実感しています。

当サークルは平成2年に発足。会の名は中国の古書より引用、「四季のいろどりと楽しい眺め」を意味し、「春の晴れた日、東の空の色と輝く太陽のような黄菊の香り」をイメージして、創立者の故・中川正一氏により名付けられました。年1回の作品発表会（青黄会展）は通算

三十三回に及びます。ローマン派美術協会・理事の山田典男氏に師事し、和やかな雰囲気のもと、油彩画、水彩画、近郊地での写生、1メートルを超える大形作品と絵筆の範囲を広げ活動しています。

現在、メインイベントである発表会（育成補助金の支給対象行事）を8月中旬に控え、作品造りに精をだしているところです。一時は世間の自粛モードに影響され、メンバーが六十六歳以上という事もあり、意欲停滞も懸念されましたが、作品発表会は毎年500人を超える方々の鑑賞を頂き、「作品から、絵を楽しんで描かれているのが良く伝わってきます。」という有難い言葉を掛けて下さった事もあり、この様な皆様の温かい思いをバネに、そして自粛ストレスを発奮力にして発表会に向け頑張っていきたいと思っております。今回の発表会が少しでも地域に役立てば幸いです。（8月執筆）

相撲甚句の魅力

芸能I部門 桑名相撲甚句会

高園則雄

桑名相撲甚句会は新日本甚句会の下部組織で平成十四年八月発足しました。相撲甚句は国技相撲と共に唄い継がれてきた邦楽の一種で、大相撲の巡業などで披露される七五調の囃子歌であります。大相撲に入門した力士が相撲教室の教養科目として必修科目であり



ます。

相撲甚句は各巡業先にて旧所名所等を、之は良いなと思う物を歌に入れて唄います。地元桑名を題にした甚句も二、三曲あります。相撲甚句（本歌）を歌い始めるときには、まくら歌として前唄、後唄があり、歌の間にアードスコイ、ドスコイやホイと合いの手が入ります。

私共、甚句会は月二回精義まちづくり拠点施設と福祉会館で会員相互の親睦と伝統文化の高揚に努め、各文化祭、各イベントに参加し研鑽に励み練習しています。

今年十月十七日（土曜日）、大山田コミュニティプラザで東海、西部地区相撲甚句発表大会を行う予定でしたが、残念ながら中止とし、来年十月開催する予定となりました。

尚、桑名相撲甚句会は会員を募集しています。声を高く上げ唄うことは健康に良いです。何時でも歓迎いたします。ご応募宜しくお願ひします。応募先要領は桑名市文化協会のホームページ掲載を参照願ひします。

活動にスポット

金雀枝を顧みて

文学部門 金雀枝短歌社

加藤 よしみ

桑名で生まれた短歌結社である「金雀枝」は今年で九十四年となります。水谷一楓主宰の創刊から数え十二月で一〇四二号に至ります。この間には、第二次大戦下の紙の制限や創作活動への難しさもあり終刊を余儀なくされた時代もあったと聞いています。

そんな困難を乗り越え、太平洋修身主幹へと引き継がれ、金雀枝先輩諸氏に支えられ乍ら、今日まで金雀枝短歌社は続けて来られました。

桑名文協の文芸欄に、常に桑名市在住の会員の近詠一首を載せて戴き、桑名市の小・中学校の生徒を対象とした「一楓・山城顕彰大会」も二十三年となり、その秀歌も取り上げて戴きました。皆さんから寄せて戴いた作品は膨大な数となります。

歴史ある結社も多い中、どの結社



▲一楓主宰の歌碑

も高齢化の波が押し寄せ、わが金雀枝も、今年をもつての終刊が決まりました。百余名の会員がありながらの閉会は淋しさで心残りもあります。

一楓主宰の言葉に「個性を大切に」「一人一派」があります。これらの教えを守りつつ、楽しく短歌を作り続けて参ります。

鎮国守国神社の正面築山に、伊予の青石に彫られた歌碑があります。歌碑には、主宰の筆跡で、

城址の松を深めて出し月に
遊べる船は灯を消しにけり

一楓

庭も狭に金雀枝の花さかしつつ
明るく住まひ在せり友は

一楓

この色紙は、私が金雀枝に入会して間もない頃に戴いたもの。金雀枝の花の咲くようすを、黄色い小花を私達にたとえられての一首かと思えます。

末尾になりましたが、貴紙の更なる発展をお祈り致します。

音楽と仲間に囲まれて

音楽部門 桑名吹奏楽団

田中大輔

1973年に発足した桑名吹奏楽団は、皆様に支えられながら、今年で47年目を迎えました。毎年開催してきた定期演奏会も、今年で第47回を数えるところでしたが、このコロナ禍の中、やむを得ず1年程度延期という残念な形をとらざるを得ませんでした。演奏会を楽しみ

にしていただいていた皆様には来年、さらにパワーアップした演奏を楽しんでいただけたらと思います。

さて、楽器の個人練習でさえも、思う存分できない

このご時世ですが、普段の私たちの活動を簡単にご紹介いたします。

練習は、毎週水曜日の夜間に桑名市内の施設で行っております。ご興味のある方は、いつでもご見学いただけますので、当団のホームページで手順をご確認の上、お気軽にお越しください。お待ちしております。演奏行事としては、秋の定期演奏会に加えて、年に3回程度の演奏の依頼を受けています。

また、夏には、メンバーみんなが楽しみにしている(?)2泊3日の強化合宿があります。夕食後にも合奏するというストイックぶりですが、この3日間である種の悟りを開くことができます。・・・というのは冗談で(笑)普段の練習の時間だけでは十分に話ができないメンバーと、ゆつくり交流できるいい機会です。夜の宴会はいたい弾けるのですが、翌朝の合奏が始まるタイミングで、何事もなかったかのように涼しい顔で舞台の椅子に座っていることが、一つのステータスになります(笑)



こんな感じで、みんな楽しくにぎやかに但し、演奏曲の練習には妥協を許さない私達ですが、いろんなジャンルの音楽に囲まれて、充実した日々を送っています。今後とも桑名吹奏楽団をよろしく願います。

第29回桑名市民芸術文化祭 ポスター原画表彰式

今年度の文化祭ポスター原画には、小学生からベテランまで15点の応募があり、油彩、水彩、写真、グラフィックデザイン等ジャンルも多彩で力作がそろいました。優秀賞には、いなべ市在住の梅山啓次さんが選ばれました。

作品には人を惹きつけるパワーがあり、力強く前向きに生きようと励まされます。梅山さんは、コロナウイルスの见えない敵と対峙する今の世の中、全ての生命の絆、つながりを抽象表現に込めたと語っていました。

佳作には、桑名市在住の福田恵理さんが選ばれました。

